

# 再エネ関連業務の実施に向けた準備状況

2021年12月7日  
電力広域的推進機関

# 1. 広域機関による業務執行の背景

- 再生可能エネルギーについて、最大限導入と国民負担の抑制を両立しながら「主力電源化」に向けた環境整備を進めていくため、再生可能エネルギー電気特措法の改正により、現行のFIT制度に加え、FIP制度、廃棄等費用の積立制度、系統設置交付金制度等が新たに創設されることとなった。
- これらの業務について、効率的かつ一体的に実施することにより安定的な法執行を確保するとともに、多様化する業務全体に対し十分なガバナンスを効かせるため、広域機関で一括して行うこととなった。

## 今後の再エネ特措法の執行体制の在り方（案）

第4回 再生可能エネルギー主力電源化制度改革小委員会  
(2019年11月18日) 資料1から抜粋

- これまでFITに係る入札及び費用負担調整の2つの業務についてそれぞれ法人を指定して業務を実施してきたが、制度改正により、今後は、FITに加えFIPに係る入札や費用負担調整業務が生じることにより、単純に業務が倍増するとともに、廃棄積立業務や系統賦課金に係る業務も増えることとなるため、質・量ともに業務量が增大する。
- また、これまでの業務においては、原則、小売事業者や送配電事業者とのやりとりであったが、FIP制度、廃棄費用積立制度といった新たな業務においては、執行機関が多数の発電事業者とやりとりする必要がある。
- こうした業務を、効率的かつ一体的に執行するためには、多様化する執行業務についてそれぞれ指定法人に担わせるのではなく、一つの認可法人に現行業務及び追加業務を一括して担わせることとしてはどうか。
- その主体を新たに設立することは追加コストの発生につながるため、既に電気事業法上において認可法人として業務を実施している「広域的運営推進機関」にこれらの業務を担わせることが適当ではないか。
- なお、執行機関の変更に際しては、特に現行法の執行に係る業務について、移管に伴う混乱が起こることのないよう執行業務全体の継続性及び一体性に十分留意しながら、円滑に執行業務が移管されるよう国・GIO・広域機関を含む関係者間で連携して取り組むべきである。

## 2. 広域機関の役割と強化すべき事項

- 再エネ関係業務においては、年間で兆円単位の会計処理を行うことになることを踏まえ、これまでの監査室による内部監査及び幹事による監査に加え、監査法人における会計監査を導入し、ガバナンスの強化と会計処理の透明性向上を図ることが求められる

### 4. 役割・機能の強化の基本的方向性

第2回 電力広域的運営推進機関検証ワーキンググループ  
(2020年10月27日) 資料5から抜粋

- 昨今の電気事業を取り巻く災害の激甚化や再エネの普及に伴う系統制約等といった課題を踏まえ、今後、我が国の電力系統は、レジリエンスを強化しつつ、再エネ大量導入に対応した、次世代型の電力ネットワークへの転換が必要となっている。
- こうした中で、電力広域機関の果たす機能・役割も更なる強化が求められており、現在、全国大の送電網の増強方針を示すマスタープランの策定を進めるとともに、送電線の利用ルールの見直しの検討を行っている。
- また、FITの資金管理や災害対応の相互扶助制度の運営など、多額の資金管理を伴う新たな業務も加わることとなっている。
- こうした状況を踏まえ、**今後、電力広域機関の機能強化を図る観点から、①ガバナンスの強化、②透明性の向上、③情報分析・発信機能の強化を進めていくこととしてはどうか。**

#### 災害関係

- ①一般送配電事業者が作成する**災害時連携計画の内容の確認**
- ②**災害復旧費用の相互扶助制度の運用**

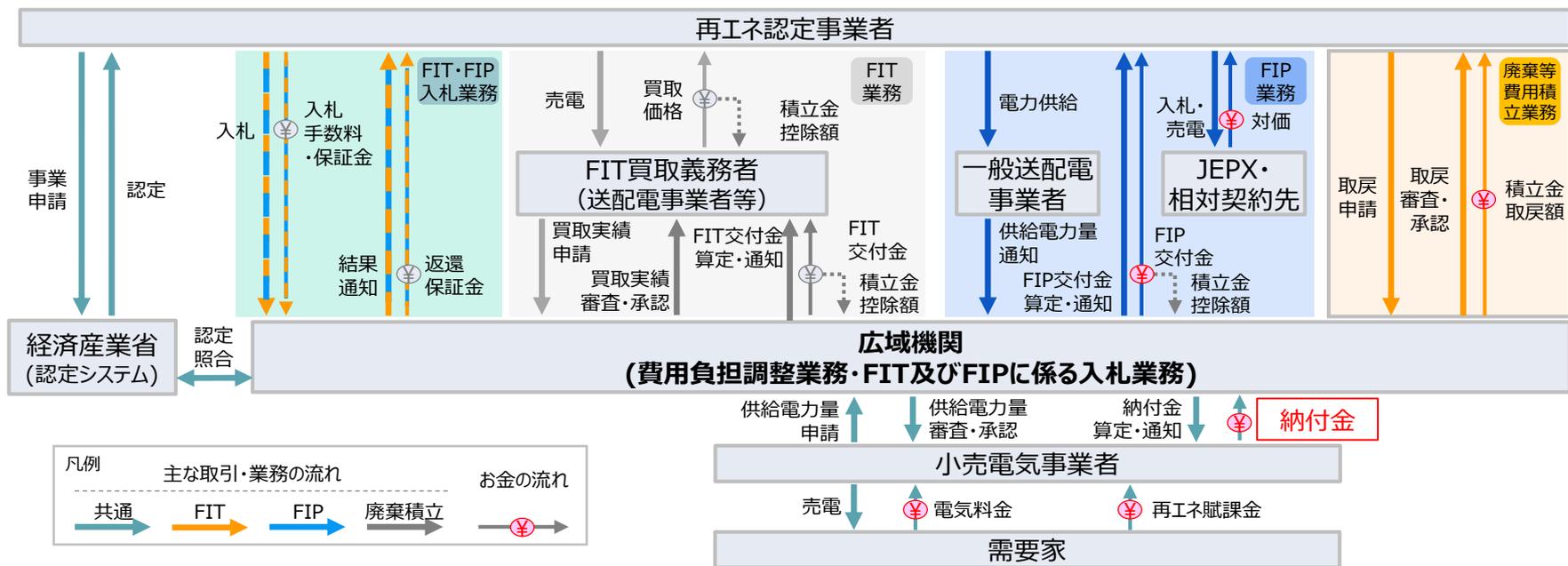
#### 系統関係及び再エネ特措法関係

- ③**広域系統整備計画の策定・国への届出**。計画に位置づけられた**地域間連系線等整備費用の一部への再エネ賦課金方式の交付金等の交付**
- ④**FIT制度に関する交付金の交付**
- ⑤**今後新たに導入するFIT制度に関するプレミアムの交付**
- ⑥**太陽光パネル等の廃棄費用の積立金の管理**

# 3. 新業務の概要

新業務	概要	業務開始	備考
FIT業務	再エネ特措法に基づく納付・交付業務（算定・決定・納付金徴収・交付金交付）、及び入札業務を実施	2022年4月	・ 2022年4月、低炭素投資促進機構から業務を移管
FIP業務		2022年4月	・ 2022年4月からFIP制度の認定開始
太陽光発電設備の廃棄等費用積立業務	太陽光発電設備の廃棄費用の積立・管理、及び取戻し対応を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる認定事業者の交付金から廃棄等費用を相殺して積立（原則、外部積立）</li> <li>対象設備の撤去、または外部積立不要（内部積立へ移行）による認定事業者からの取戻し申請対応</li> </ul>	2022年7月	・ FIT認定取得が早い事業者が2022年7月から廃棄等費用の積立開始

## 主な取引・業務の流れ



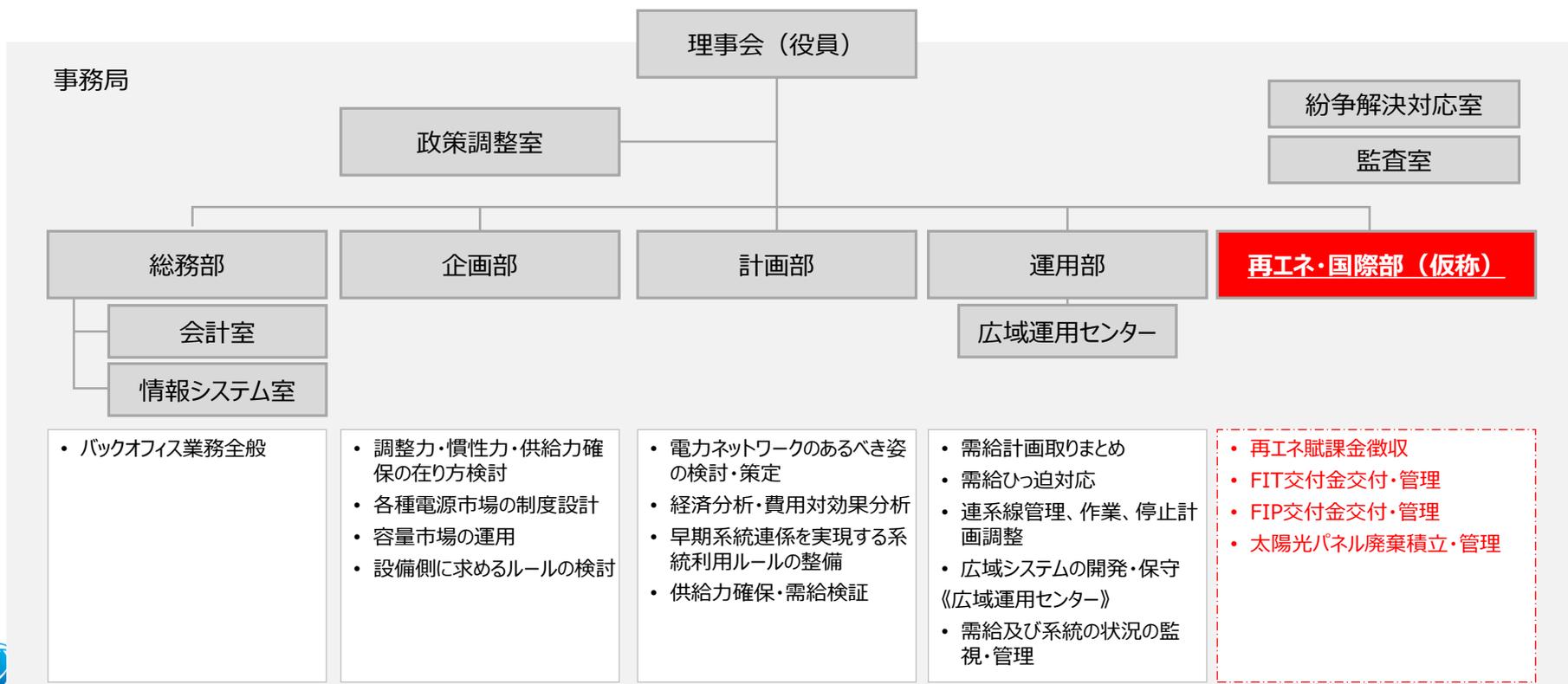
## 4. 新業務実施に向けて必要な準備

- 多数の事業者対応、多額資金の適正な会計処理・管理などに的確に対応すべく以下の取り組みを実施
- 特に、多額資金の適正管理にあたっては、社内体制整備に加え外部監査を導入。また、FIP交付金、廃棄等費用積立金の適正管理に向けてはシステムを構築。

主な取り組み事項		備考
規程類 整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 定款、業務規程、送配電等業務指針の改正</li> <li>• 法令、省令に基づく管理規程の策定</li> <li>• 広域機関業務従事者、及び事業者向けマニュアル策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 適正な業務遂行、交付金算定等の公正・透明性確保が必要であり、規定・マニュアル策定により具体的な処理、算定根拠、諸元の明確化などを図る</li> </ul>
業務移管 (FIT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FITシステム移管方針、移管範囲、条件の明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 業務移管後の効率的な業務運営に向けては、移管によるリスク(既契約上の制約、債券債務、システム課題等)回避が必要であり、デューデリジェンスを実施のうえ、必要に応じて対策検討や業務設計への反映を実施</li> </ul>
新業務の 設計・ 体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新業務の詳細業務設計 (多数の事業者対応、区分経理)</li> <li>• 資金管理体制、業務分担・責任の明確化</li> <li>• ガバナンスの強化 (外部監査導入の検討)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FIT・FIPの制度見直しや多数の事業者対応、及び多額・長期の適正な資金管理を踏まえた体制構築が必要 (5スライド参照)</li> </ul>
システム 構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FIP・廃棄等費用積立管理システムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FITシステムは、多くの制度変更対応が生じていること、及びFIP制度導入によりこれまで以上に多数の事業者がアクセスすることになることから柔軟性・利便性を確保したシステム構築が必要 (6スライド参照)</li> </ul>

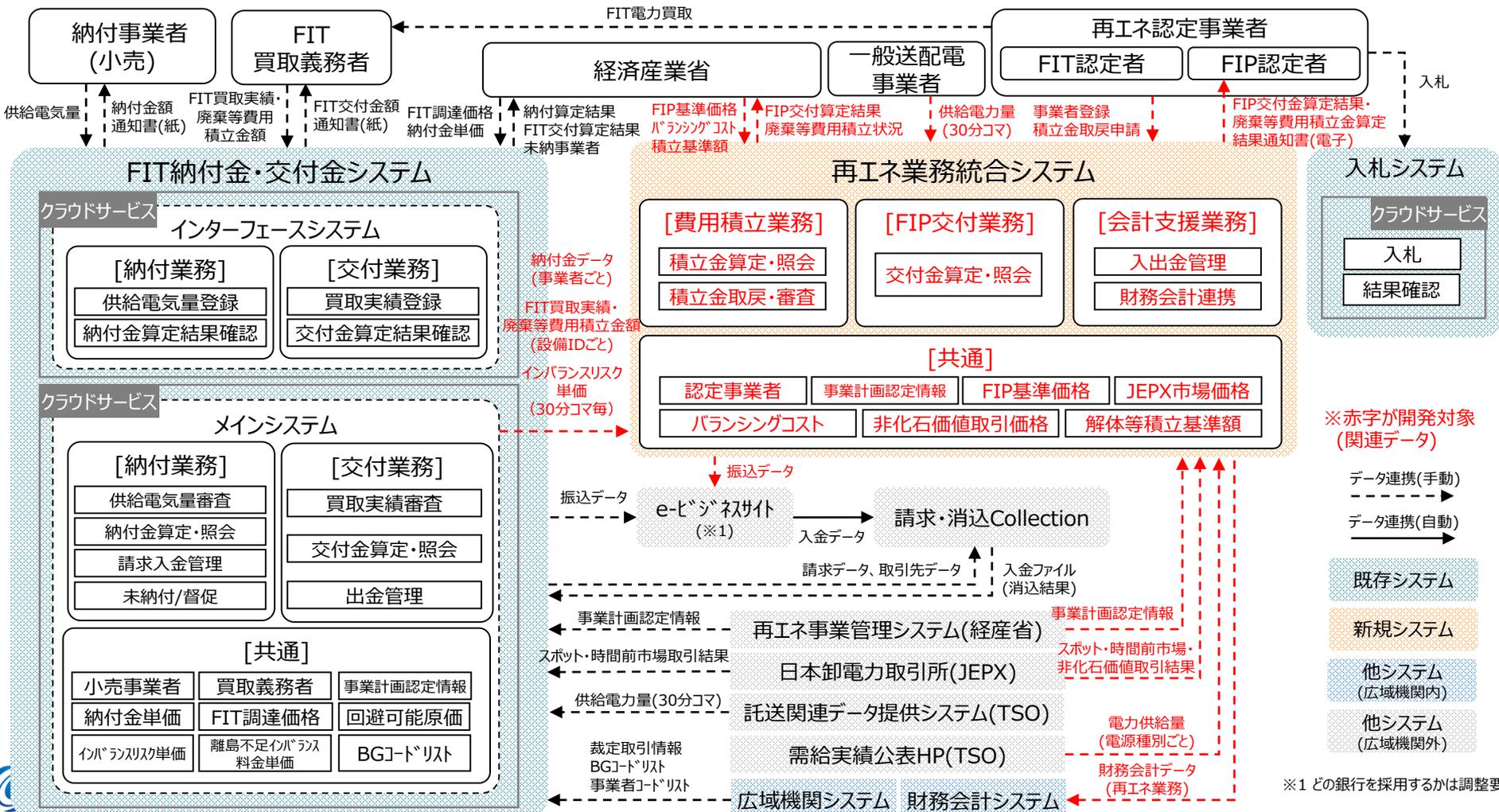
## 5. 主な取り組み事項①（組織体制）

- 再エネ関係業務（FIT・FIP・廃棄等費用積立）については、以下の理由から新たな部（再エネ・国際部 仮称）を設置のうえ、制度設計・運用から資金管理の一連の業務を実施。その際、ガバナンスの観点も踏まえて経理部門との業務分担や部門横断的な機能強化を図る
  - 納付金・交付金の算定、及び廃棄等費用の相殺処理等は再エネ固有業務であり、一連での業務実施が効率的
  - 多数の事業者対応や更なる制度変更への柔軟性を持った対応が可能となる体制を確保



# 5. 主な取り組み事項② (システム構築)

■ 新業務への対応として「再エネ業務統合システム」を新規構築するとともに、既存のFIT納付金・交付金システムのデータ(納付金データ・FIT買取実績・廃棄等費用積立金額)を連携し、情報を集約・一元管理することで効果的な業務遂行を実現する。



## 6. 対応状況とスケジュール

- 2022年4月からの業務開始に向けて組織体制、及び再エネ業務統合システム構築等に向けた検討を行い、運営委員会において審議を実施。
  - 第3回（4/27）：2022年度業務開始に向けた主な取り組みと課題、組織体制・システム構築の方向性
  - 第4回（6/2）：システム化範囲と必要な機能
  - 第5回（9/27）：内部統制の強化、効率的な業務運営に向けた検討
- また、既存のFIT業務については、GIOからの円滑な業務移管の実現に向けて、デューデリジェンスを実施し、移管業務の明確化や移管方針の策定等を進めている。

